令和5年7月12日（水）付、東京新聞、
令和5年7月14日（金）付、信濃毎日新聞（夕刊）に掲載されました！
～絵本『パパの柿の木』読み聞かせ講演会（7月10日実施）～

当たり前の日々 大切に生きて

講演する日航機墜落事故遺族の谷口真知子さん（右）＝群馬県藤岡市

1985年の日航機墜落事故で夫を亡くした大阪府箕面市の谷口真知子さん(75)が、命の大切さを伝えようと、事故現場に近い群馬県藤岡市の小学校2校で自作絵本の読み聞かせ会を開いた。事故から立ち直ろうとする家族の姿を描いた「パパの柿の木」を朗読し「当たり前の日々を大切に生きてほしい」と語りかけた。

読み聞かせ後には、墜落直前の機内で「まち子　子供よろしく」というメモを残した夫正勝さん＝当時(40)＝への思いや絵本制作の経緯を語り、児童や地元住民らが聞き入った。

美九里東小6年の新井駿介君(11)は「一日一日が家族との大切な時間だと気付いた」とあいさつ。美九里西小6年の植竹彩貴さん(12)は「私も落ち込むことがあっても、時間をかけて前を向きたい」と話した。

藤岡市には事故当時、遺体安置所となった体育館があり、谷口さんらは地元の人に感謝を伝えようと企画。群馬県では初めての対面講演で、谷口さんは「伝えたかったことをまっすぐに受けとめてくれた。来年も開催したい」と力を込めた。